

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社
代 表 者 名 代表取締役 谷 直 樹
(コード番号：4579)
問 合 せ 先 常務執行役員 河田 喜一郎
(TEL. 052-446-6100)

通期個別業績予想の修正及び役員報酬減額の継続に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年7月10日に公表いたしました平成27年12月期（平成27年1月1日～平成27年12月31日）における当社の通期個別業績予想を下記のとおり修正しますのでお知らせいたします。

記

1. 平成27年12月期 通期個別業績予想の修正（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

	事業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想 (A)	600	△1,440	△1,378	△1,475	△93.55
今回修正予想 (B)	126	△1,930	△1,858	△1,908	△120.24
増減額 (B-A)	△474	△490	△480	△433	—
増減率 (%)	△79.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年12月期)	153	△2,122	△1,942	△464	△33.23

2. 修正の理由

事業収益につきましては、昨今の製薬会社各社における開発ポートフォリオの見直し等により導出環境は一層、厳しさを増す中、今期中の導出を目指しておりましたアシッドポンプ拮抗薬及びダルババンシンの契約締結が遅延する可能性が高まったため、474百万円減少する見通しとなりました。これら開発中の化合物については、引き続き導出候補先との交渉を進めており、翌期以降での導出を目指すほか、ポートフォリオの価値向上に向けた施策の検討を行ってまいります。事業費用につきましては、経費削減等により諸費用が減少いたしました。開発中の化合物の臨床試験等の進展に伴い委託研究費及び特許維持費等が増加したため、16百万円増加する見通しとなりました。また、有価証券利息等により営業外収益が10百万円増加し、投資有価証券売却益により特別利益が30百万円増加し、移設関連に伴う移設費用の圧縮により特別損失が11百万円減少したため、当期純利益は433百万円減少する見通しとなりました。

以上の結果、事業収益126百万円（前回発表予想値600百万円）、営業利益△1,930百万円（前回発表予想値△1,440百万円）、経常利益△1,858百万円（前回発表予想値△1,378百万円）、当期純利益△1,908百万円（前回発表予想値△1,475百万円）に修正いたします。

当社といたしましては、来年度以降の業績改善を実現すべく、研究開発方針及び事業戦略を抜本的に見直すことで企業価値の向上を計ってまいります。

なお、平成27年7月10日に公表いたしました『平成27年12月期～平成29年12月期 中期経営計画』についても見直しを計る予定であり、見直し計画を策定次第、速やかにお知らせいたします。

3. 役員報酬減額の継続について

当社は、経営合理化策の一環として平成27年7月から12月（6ヶ月間）において役員報酬の減額を実施しておりますが、今期の業績予想を真摯に受け止め、その経営責任を明らかにし、今後の収益改善への決意を表すために取締役の役員報酬減額を継続することを決議いたしました。

また、監査役より監査役報酬につき自主返上継続の申し入れがありましたので併せてお知らせいたします。当社経営陣一同、今後の業績向上に向けて邁進する所存であります。今後ともご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

(1) 役員報酬減額の継続内容

代表取締役：役員報酬月額の50%を減額

その他取締役：役員報酬月額の20%を減額

(2) 監査役報酬自主返上の継続内容

監査役：監査役報酬月額の10%を減額

(3) 対象期間

減額の期間につきましては、平成28年1月から当分の間とし、終了時期は今後の業績に照らし判断いたします。

※ 将来の事象に関わる記述に関する注意

業績予想につきましては、発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後起こりうる様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上